

第 170 回 ファシズムと人民戦線

1 イタリアと日本のドイツ接近

・すでに（ ）が独裁者となっていたイタリアも、1929 年の世界恐慌によって大打撃を受けたため、対外侵略によってこの苦境を脱しようとした。

・1935 年、イタリアは（ ）を行い、翌年これを併合した。

→国際連盟はイタリアに対して経済制裁を行ったが、効果はあがらなかった。

→国際的に孤立したイタリアは、ドイツに接近して協力関係を結んだ。

※これを（ ）という。

・また同じく国際的に孤立していた（ ）も、ドイツに接近した。

→1936 年、（ ）が結ばれた。

→1937 年、国際連盟を脱退したイタリアも加わった。

→（ ）（日独伊防共協定）となり、三国枢軸が成立した。



ハイレ=セラシエ

エチオピア皇帝ハイレ=セラシエは、国際連盟でイタリアの侵略行為を訴えたが、国際連盟の経済制裁では、侵略行為を止めることはできなかった。



ムッソリーニとヒトラー

当初はムッソリーニの方が格上だったが、次第に力関係は逆転していった。ただし二人の協力関係は最後まで続いている。



日独防共協定

「防共」とは、「共産主義勢力の拡大を防ぐ」という意味である。このことから、両国がどの国を仮想敵国としていたかがわかる。

2 反ファシズムの運動

・ファシズムや独裁が拡大するなかで、反ファシズムの運動も高まっていった。

・1932 年、フランスの作家ロマン=ロランの呼び掛けで、反戦・反ファシズムの国際会議であるアムステルダム反戦会議が開かれた。

・1935 年、モスクワで（ ）が開かれて、共産党と社会民主主義勢力など、反ファシズム勢力が協力することを訴えた。

→この協力体制を（ ）といい、（ ）、（ ）、南米のチリでは人民戦線内閣が実現した。

<フランス>

◆（ ）（在任 1936～1937 年）

・（ ）・急進社会党・フランス共産党が協定を結び、人民戦線内閣が成立した。



ロマン=ロラン

フランスのノーベル文学賞作家。第一次世界大戦の時代から、生涯にわたって反戦と反ファシズムを唱えた。代表作は、『ジャン=クリストフ』。



コミンテルン第 7 回大会

コミンテルンについては、第 158 回を復習しよう。後ろには、共産主義とソ連にとって重要な 4 人の肖像画が掛けられている。全員わかるかな？



フランス首相ブルム

ユダヤ系であり、ドレフュス事件に衝撃を受けて政治家を目指ようになった。後にユダヤ人ということでナチスに捕らえられている。

3 スペイン内戦

- ・スペインでは、1931 年のスペイン革命で、ブルボン朝の国王が退位・亡命し、スペイン共和国（第二共和政）が成立した。

☆スペイン共和国（第二共和政）（1931～1939 年）

都…（ ） ※現在もスペインの首都

◆アサーニャ（在任 1936～1939 年）

- ・1936 年、アサーニャ大統領の人民戦線内閣が成立した。
 - 軍人の（ ）がモロッコで反乱を起こし、（ ）が始まった。
 - ドイツ・イタリア・ポルトガルは、公然と同じファシズムの反乱軍を支持した。
 - だが英仏は内戦に対して（ ）をとった。



政府側は足並みがそろわず、また英・仏の支援も受けられなかった。敗れたアサーニャはフランスに亡命し、そこで死去している。

アサーニャ人民戦線大統領



フランコ將軍

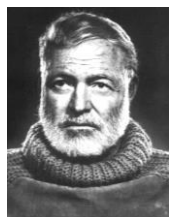
フランコは、内戦中にファランヘ党を組織して、勝利後は一党独裁体制を築いた。第二次世界大戦後も続いた、数少ないファシズム政権である。



「崩れ落ちる兵士」

ハンガリー生まれの写真家ロバート＝キャパが撮ったとされるこの写真は、報道写真の最高傑作とされる。義勇軍の兵士が、撃たれた瞬間とされる。

- ・一方政府側には、世界各地から集まった（ ）からの支援があった。
 - ※アメリカの作家（ ）、イギリスの作家（ ）、フランスの作家マルローらが有名。
- ・フランコを支持するドイツとイタリアは、小都市（ ）を爆撃した。
 - 画家（ ）はこれに衝撃を受けて、「 」を制作した。
- ・1939 年、フランコ率いる反乱軍は、首都のマドリードを陥落させて勝利した。



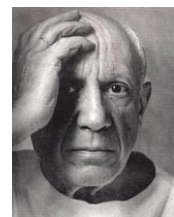
ヘミングウェイ
スペイン内戦の体験をもとに描いた『誰がために鐘は鳴る』の他に、『老人と海』や『武器よさらば』が有名。



オーウェル
やはりスペイン内戦の体験を描いた『カタロニア賛歌』で知られるが、何といっても『1984』が傑作。



「ゲルニカ」



ピカソ
スペインを代表する画家である。時代によって作風が様々に変化したことでも有名。

☆ポルトガル共和国（1910～2021 年現在）

◆（ ）（在任 1932～1968 年）

- ・ポルトガルでは、首相のサラザールがファシズムによる独裁体制を築いた。
 - スペイン内戦では、フランコの反乱軍を支持した。



サラザール